



そうし もえぎ草子

くぼ たかおり ト ノ しゅつぱん
久保田香里作 t o n o 絵 くもん出版

時は平安時代。十二歳の萌黄は育ての親である叔母と別れ、亡くなった母と同じく大内裏で下働きをすることに。

『枕草子』の作者・清少納言の文を運ぶなど、先輩の瑞木や庭番の小竹丸に助けられながら仕事をしていた。

けれどある日、遠方に住む父からおくられた「紙屋紙」が大内裏で盗んだものと疑われ、仕事が失ってしまう。路頭に迷った萌黄は、路上で歌をうたって日銭をか

せぐ紅葉という女性と出会う。

平安京を舞台に、困難を乗り越え成長していく少女の物語。

